

**50**年を超えて活動を続ける青年海外協力隊。これまでのべ5万人もの隊員たちが日本と開発途上国をつないできた。2018年秋からは、これまでのシニア海外ボランティアなどを含め「JICA海外協力隊」と総称することになり、より多くの人が活躍できるように制度も再編された。いまこの瞬間も約2,000人が、開発途上国で現地の人と対話をしながら活動をしている。

JICA海外協力隊員は、学生や事務職、技術者、スポーツなどその経歴や得意分野はさまざまだが、共通するのは「途上国の役に立ちたい」という熱い思い。JICAもその思いに応えるべく、派遣前にしっかりと訓練を行い、派遣中、派遣後もサポートを行う。そうして活動を行う隊員やOB・OG、そして彼らを支える人々の、「派遣前」「派遣中」「派遣後」の様子を紹介しよう。

**Q** 帰国後の就職が不安です。

**A** 先輩たちは経験を生かして活躍しています!  
▶p.6~7, p.14~17

**Q** 協力隊に参加して得られるものは?

**A** すべての経験が人生の糧になり、フロンティア人材として活躍できます!  
▶p.22~23

**Q** 開発途上国の経験がない私でも隊員になれますか。

**A** 派遣前に訓練する時間が設けられています!  
▶p.10~13



特集 JICA海外協力隊

# いつか**世界**を変える**力**になる。

**Q** 開発途上国での活動や暮らしが想像できません。

**A** 隊員の活動をご紹介します!  
▶p.6~7, p.14~17



**A** 現地には事業支援のプロがいてサポートしてくれます!  
▶p.9